

21期ディベート活動報告

*春合宿A：核兵器保持は是か非か

| 肯定側 | 否定側 |
|---|---|
| 立論① ・NPTに基づいた国連安保理5大国の核兵器保持の提案 | 立論① ・日本で核を製造・保持することによる安全面・経済面のコストと憲法改正の必要性 |
| 立論② ・核兵器保持による国際競争力の向上 | 立論② ・核兵器保持による国家間孤立化への不安 |
| 結果：肯定側の勝利 データが豊富で説得力があり、それをチームの全員で共有し、議論に臨んでいたため、肯定側の勝利。ディベートのテーマの定義づけがあまく、両方で論点がずれていたために主張にもずれが生じ、十分な論議ができなかった。 | |

*春合宿B：日本のサマータイム導入は是か非か

| 肯定側 | 否定側 |
|---|-------------------------------------|
| 立論① ・導入による経済効果、CO2削減の主張 | 立論① ・導入による赤字の懸念 |
| 立論② ・女性の社会進出、余暇によるワークバランス向上への期待 | 立論② ・仕事の時間削減による残業に伴う健康被害などのデメリット |
| 結果：否定側の勝利 豊富なデータを、一貫性を持って活用していたため否定側の勝利。双方に一部の人の積極性の低さやマナーの悪さが見えた。 | |

*11月6日：定年後住むなら都会か田舎か

| 都会派 | 田舎派 |
|---------------------------|-----------------------|
| 立論① ・発達した交通網による利便性 | 立論① ・豊かな自然とそれに伴う健康 |
| 立論② ・バリアフリーの充実と災害時の安全性 | 立論② ・周辺住民との関係性の深さ |

結果：都会派の勝利

数字を用いたデータを多く用意しており、説得力があったため。今回、場所や状況を細かく定義したために、双方ともに具体的な調査ができていた。また、身近なテーマであったため、全員が議論に参加している印象を受けた。スマートフォンの使用など基本ルールを理解しきれてなかった。

*11月27日：日本の教育システムについて

| | |
|---|-----------------------------|
| つめこみ教育派 | ゆとり教育派 |
| 立論① ・国際基準での学力低下の危険性 | 立論① ・生徒の個性に合わせた教育システムの確立 |
| 立論② ・子供が学校にいる時間が減るために生じる女性の社会進出の妨げへの不安 | 立論② ・余暇の時間によって生じる経済効果 |
| 結果：つめこみ教育の勝利 主張に一貫性があり、積極性が高かったため。議論への話の上げ足をとることや、感情論の主張が目立った。話が進んでいくうちに議論が立論から大きく逸れていってしまったため、双方ともに結論があいまいになってしまっていた。 | |

*12月11日：日本のTPP導入の是非

| | |
|---|-------------------------|
| 肯定派 | 否定派 |
| 立論① ・日本の第二次産業発展の可能性 | 立論① ・導入に伴う農業産業分野への被害 |
| 立論② ・日本と他外国との国際関係の強化 | 立論② ・デフレ発生に伴う経済への被害 |
| 結果：肯定派の勝利 全員でデータを共有し、積極的に議論に参加していた。相手からの質問に対する対応からも準備を念入りに行っていたことが伝わったため。全体的に以前のどのディベートよりも一貫性を持った議論を展開できていた。 | |